

## 添付資料

### 温室効果ガス排出量の削減効果及び資源循環の効果算出シート

事業名：廃タイルカーペットのマテリアルリサイクル

#### ■該当する類型

類型	1
----	---

#### ■基準シナリオの種別

廃タイルカーペットの全国平均の処理等
--------------------

令和8年4月 X 日

## ■目次

1	シナリオの概要と機能単位
2	算出範囲
3	インベントリデータ一覧
4-1	算出結果_温室効果ガス排出量の削減効果（製品バスケット法の場合）
4-2	算出結果_温室効果ガス排出量の削減効果（負荷回避法の場合）
5-1	算出結果_資源循環の効果（類型①）※
5-2	算出結果_資源循環の効果（類型②）※
5-3	算出結果_資源循環の効果（類型③）※
6	改訂履歴

※該当する類型の様式のみ作成すること

# 1.シナリオの概要と機能単位

改訂番号 1 入力日 令和8年4月X日

注記) 個別事業者の算定資料につき、各諸数値の根拠は一部想定値で記載しております。

当該事業において技術検証等は実施しておりません。

## 事業名：廃タイルカーペットのマテリアルリサイクル

### ■該当する類型

類型 1

### ■基準シナリオの種別

廃タイルカーペットの全国平均の処理等

### ■シナリオの概要と機能単位

記入項目		記入欄	
シナリオの概要	事業シナリオ	廃棄物の種類 廃タイルカーペット	
		再資源化等の方法 廃タイルカーペットのマテリアルリサイクル	
シナリオの概要	基準シナリオ	再生材（複数ある場合は処理割合） 廃棄物の処理量1tあたり再生ペレット 0.98t	
		廃棄物の処理方法及び処理割合等 廃タイルカーペットの平均的な処理として、破砕した後に全量の埋立処理を設定した。	
機能単位	対象とする廃棄物	種類と量 廃タイルカーペット	
		排出源 首都圏都市部が主	
	生産される再生部品又は再生資源 再生ペレット		
温室効果ガス排出量の削減効果の算出方法に負荷回避法を用いる場合に○と入力する			

## 2.算出範囲

改訂番号 1 入力日 令和8年4月X日

### 事業名：廃タイルカーペットの材料リサイクル(類型1)

#### ■各シナリオのプロセス

事業A：事業シナリオの再資源化プロセス

事業B：基準シナリオに再資源化や熱回収の工程があり、事業シナリオにはその工程がない場合、その再資源化や熱回収によって得られる製品・サービスの天然資源・プライマリー材由来の製造プロセス

基準A：基準シナリオの処理プロセス

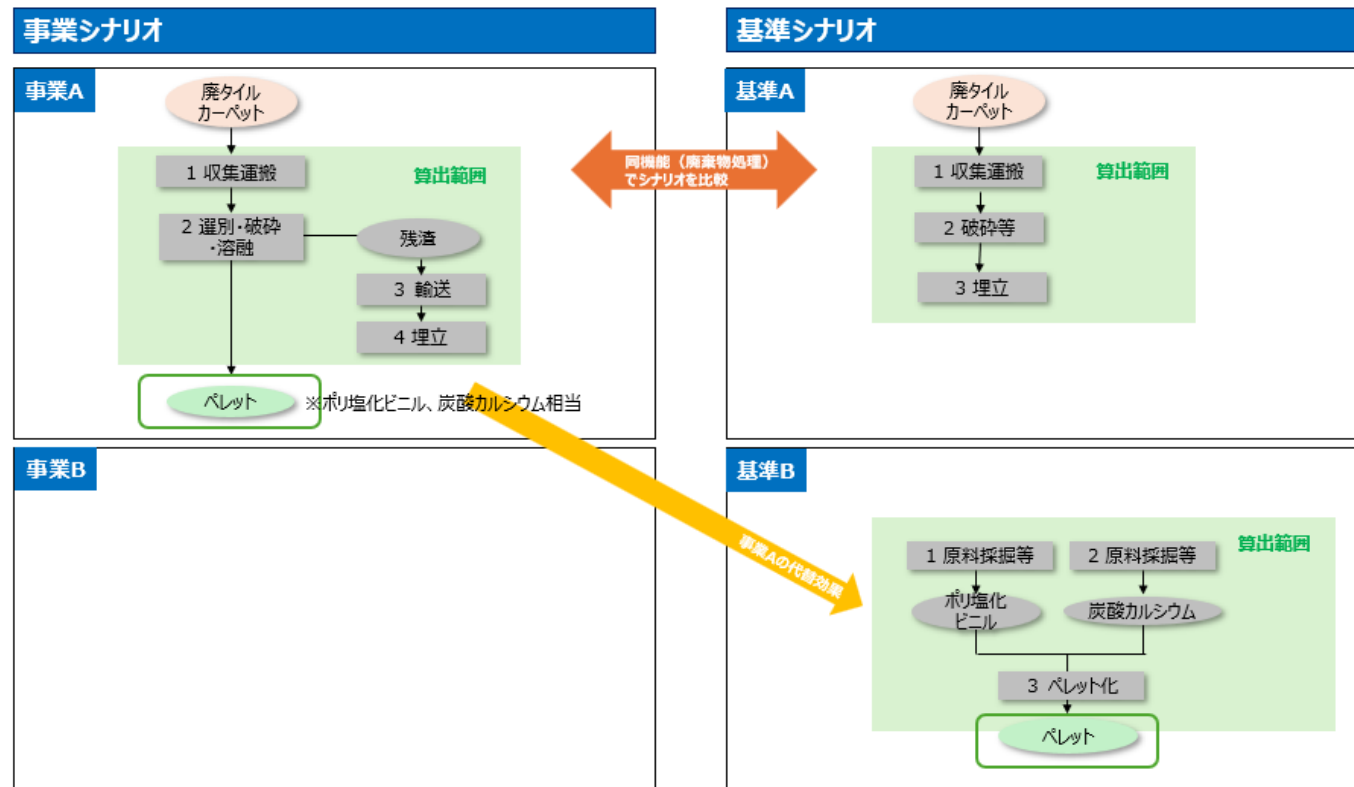
基準B：事業シナリオの再資源化と同じ製品・サービスの製造におけるプライマリー材での製造プロセス

#### ■算出範囲

類型①：A⇒収集運搬から残渣処理処分を含む再資源化等のプロセスまで B⇒プライマリー材由来の製品製造プロセスまで

類型②：A⇒収集運搬を除く残渣処理処分を含む再資源化等のプロセスまで B⇒プライマリー材由来の製品製造プロセスまで

類型③：A⇒収集運搬を除く残渣処理処分を含む再資源化等のプロセスのうち事業シナリオで設備更新等を実施するプロセスによって影響を受けるプロセス B⇒プライマリー材由来の製品製造プロセスまで



#### 【入力上の注意】

- ・算出範囲のプロセスは採番をした上で、図中のプロセス凡例に番号とプロセス名を併記すること。
- ・算出範囲のプロセスは緑色の四角で囲い、算出範囲を明示すること。
- ・算出範囲のプロセスが多いなどの理由で、作図に必要なスペースが不足する場合は算出範囲について別ファイルで提出することを認める。
- ・両シナリオの廃棄物と、プロセスが生み出す製品・サービスより等量・等質（機能が等価という意味）であるものをそれぞれ両矢印で示すこと。
- ・「算出範囲」が本シートに収まりきらない場合は、別ファイルで提出してもよい。その場合は以下のとおりで提出すること。
- ・Word、Excel、PowerPoint、PDFのいずれかのファイルによること。
- ・A4サイズで印刷されることを念頭に置き、10pt以上のフォントを用いて作成すること。
- ・ファイル名は「【算出範囲】申請者名\_事業名.拡張子」とすること。
- ・類型②の場合、収集運搬のプロセスがシナリオ間で異なる場合、算出範囲に含め、同一の場合は算出範囲から省略することができる。

3.インベントリデータ一覧

改訂番号 1

入力日 令和8年4月X日

事業名：廃タイヤカーペットのマテリアルリサイクル(類型1)

(1) 温室効果ガス排出量の削減効果に関するインベントリデータ

①事業シナリオ

カテゴリ	No.		プロセス	区分	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
	プロセス	参照								
事業A	1	a	収集・運搬	活動量	75.000	tkm	1t×75km=75tkm	事業者ヒアリングから、排出場所が様々であるため、平均輸送距離を算出。廃棄物1tを75km輸送する	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	1	b	収集・運搬	排出係数	0.238	kgCO2e/tkm	0.091L/tkm × 2.620kgCO2e/L=0.239kgCO2e/tkm	出典より「4t車・積載率60%・2025年度基準」の燃費（0.091L/tkm）と軽油の製造・燃焼にかかる排出係数（2.620kgCO2e/L）を得て、これを乗じて収集運搬の排出係数を求めた。	経済産業省, 国土交通省（2023）ロジスティクス分野におけるCO2排出量算定方法共同ガイドラインVer.3.2 p59, 27	2
	2	a	混合（可塑剤）	活動量		t	-	事業者ヒアリングから投入量を算定	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	2	b	混合（可塑剤）	排出係数		kgCO2e/t	-			3
	2	c	混合（安定剤）	活動量		t	-	事業者ヒアリングから投入量を算定	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	2	d	混合（安定剤）	排出係数		kgCO2e/t	-			4
	2	e	選別・破碎・溶融	活動量	370.000	kWh	-	事業シナリオに必要な全電力の合計	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	2	f	選別・破碎・溶融	排出係数	0.423	kgCO2e/kWh	-	電気事業者の排出係数の平均値を取得	環境省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 電気事業者別排出係数一覧 令和8年度提出用」p16	5
	3	a	輸送（残渣）	活動量	0.760	tkm	1t×2%=0.020t 0.02t×38km=0.760tkm	事業者ヒアリングより、破碎で生じる残渣2%を計上し、それを38kmまで輸送する	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	3	b	輸送（残渣）	排出係数	0.094	kgCO2e/tkm	0.036L/tkm × 2.62kgCO2e/L=0.094kgCO2e/tkm	出典より「10t車・積載率80%・2025年度基準」の燃費（0.036L/tkm）と軽油の製造・燃焼にかかる排出係数（2.62kgCO2e/L）を得て、これを乗じて収集運搬の排出係数を求めた	経済産業省, 国土交通省（2023）ロジスティクス分野におけるCO2排出量算定方法共同ガイドラインVer.3.2 p59, 27	2
4	a	埋立	活動量	0.020	t	1t×2%=0.02t	破碎で生じる残渣2%を計上	事業実績（事業者ヒアリングより）	1	

【入力上の注意】

- ・「活動量等の数値を計算した場合に用いた値、数式」には、活動量に影響する収率、機器の処理能力等の条件があり、それらを掛け合わせて活動量等を算出した場合に、計算に用いた元の数値と計算式を入力する。
- ・「出典における数値の定義・考え方」には、出典におけるデータの範囲（排出係数の例：鉄鋼製品の製造/ データの範囲：鉄鉱石の採掘、輸送、製鉄、製鋼、鋳造、圧延など）、設定条件（例：データ整備をおこなった地域、対象の技術、データのばらつき等データ採用にあたり留意すべき事項、など）等を明記すること。
- ・活動量を申請者自身の測定値より算出に用いる場合はガイドライン4.1.4を参照し、データの品質についても留意すること。（具体的には、データを測定した期間、データのばらつき・統計的な確からしさに関して記述すること）  
（実測値を算出に用いる例：あるプロセスについて、廃棄物1t当たりの電力消費量を計算する場合/ 〇〇〇年〇月～〇〇〇年〇月（12か月間）の〇〇プロセスの消費電力量の合計値を配電盤で計測した（XXXkWh）。同期間の当該プロセスの廃棄物処理量（YYYt）で消費電力量を割り算することで廃棄物1t当たりの電力消費量を算出した。  
XXX kWh / YYY t = ZZZ kWh  
なお、〇〇〇年〇月～〇〇〇年〇月の月ごとの廃棄物1t当たりの電力消費量は平均値±5%の範囲内に収まることを確認済み）
- ・「出典における数値の定義・考え方」にて、他のインベントリデータを参照する場合は、下記のルールにて参照番号を付記して記載のこと。  
記載例：②基準A-3a  
= ②基準シナリオ カテゴリ：基準A、プロセス・参照番号：3a を示す。
- ・「No./プロセス」には、「2.算出範囲」シートにて、フロー記載のプロセス凡例と同じプロセス名、番号を用いること。
- ・「プロセス」には、「2.算出範囲」シートのフローに記載のプロセス凡例の名称と同じものを記載のこと。
- ・「出典」に記載の引用箇所のパージ番号、数値について、算出シートには出典資料として添付すること。  
出典資料は、引用箇所が分かるようマークを付けたうえで該当ページを提出のこと。

	4 b	埋立	排出係数	37.900	kgCO2e/t	-	出典より廃プラスチックの埋立（廃棄物輸送段階除く）を取得	環境省（2019）「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.2.6）」>[8]廃棄物種類・処理方法別排出原単位<事務局>廃プラスチック類（埋立）	6
事業B		該当なし							

②基準シナリオ

カテゴリ	No.		プロセス	区分	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
	プロセス	参照								
基準A	1 a		収集運搬	活動量	75.000	tkm	1t×75km=75tkm	事業者ヒアリングから、排出場所が様々であるため、平均輸送距離を算出。廃棄物1tを75km輸送する	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	1 b		収集運搬	排出係数	0.238	kgCO2e/tkm	0.091L/tkm×2.62kgCO2e/L=0.238kgCO2e/tkm	出典より「4t車・積載率60%・2025年度基準」の燃費（0.091L/tkm）と軽油の製造・燃焼にかかる排出係数（2.62kgCO2e/L）を得て、これを用いることで収集運搬の排出係数を求めた。	経済産業省、国土交通省（2023）ロジスティクス分野におけるCO2排出量算定方法共同ガイドラインVer.3.2 p59, 27	2
	2 a		破碎	活動量	70.000	kWh	-	-	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	2 b		破碎	排出係数	0.423	kgCO2e/kWh	-	電気事業者の排出係数の平均値を取得	環境省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 電気事業者別排出係数一覧 令和8年度提出用」p16	5
	3 a		埋立	活動量	1.000	t	-	全量が破碎され、埋立されるとして算出	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	3 b		埋立	排出係数	85.100	kgCO2e/t	-	出典より廃プラスチックの埋立（廃棄物輸送段階含む）を取得	環境省（2019）「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.2.6）」>[8]廃棄物種類・処理方法別排出原単位<事務局>廃プラスチック類（埋立）	6
	1 a		ポリ塩化ビニルの原料採取等	活動量		t	-	事業者ヒアリングより、製品は表面繊維が(A)ナイロン品と(B)ポリプロピレン製のものに分かれる。再生ベレットが代替できる樹脂部分のポリ塩化ビニル(PVC)及び炭酸カルシウム(CaCO3)、可塑剤、安定剤の比率より算出	事業実績（事業者ヒアリングより）	1

基準B	1 b	ポリ塩化ビニルの原料採取等	排出係数	kgCO2e/t	-			7
	2 a	炭酸カルシウムの原料採取等	活動量	t	-	事業者ヒアリングより、製品は表面繊維が(A)ナイロン品と(B)ポリプロピレン製のものに分かれる。再生ペレットが代替できる樹脂部分のポリ塩化ビニル(PVC)及び炭酸カルシウム(CaCO3)、可塑剤、安定剤の比率より算出	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	2 b	炭酸カルシウムの原料採取等	排出係数	kgCO2e/t	-			8
	3 a	ペレット化（可塑剤投入）	活動量	t	-	事業者ヒアリングより、製品は表面繊維が(A)ナイロン品と(B)ポリプロピレン製のものに分かれる。再生ペレットが代替できる樹脂部分のポリ塩化ビニル(PVC)及び炭酸カルシウム(CaCO3)、可塑剤、安定剤の比率より算出	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	3 b	ペレット化（可塑剤投入）	排出係数	kgCO2eq/t	-			3

3 c	ペレット化 (安定剤投入)	活動量	t	-	事業者ヒアリングより、製品は表面繊維が(A)ナイロン品と(B)ポリプロピレン製のものに分かれる。再生ペレットが代替できる樹脂部分のポリ塩化ビニル(PVC)及び炭酸カルシウム(CaCO3)、可塑剤、安定剤の比率より算出	事業実績 (事業者ヒアリングより)	1
3 d	ペレット化 (安定剤投入)	排出係数	kgCO2/t	-			4
3 e	ペレット化	活動量	300.000 kWh	-	ペレット化に必要な電力	事業実績 (事業者ヒアリングより)	1
3 f	ペレット化	排出係数	0.423 kgCO2e/kWh	-	電気事業者の排出係数の平均値を取得	環境省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 電気事業者別排出係数一覧 令和8年度提出用」p16	5

(2) 資源循環の効果に関するインベントリデータ

③事業シナリオ

カテゴリ	No.	再生材	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
事業A	1	再生ペレット	0.980	t	1t-0.020t=0.980t	リサイクルによる産出物のうち、添加剤を除く廃棄物由来の量 (=1t-残渣量)	事業実績 (事業者ヒアリングより)	1

④基準シナリオ

カテゴリ	No.	再生材	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
基準A		該当なし						

4-1.算出結果\_温室効果ガス排出量の削減効果（製品バスケット法の場合）

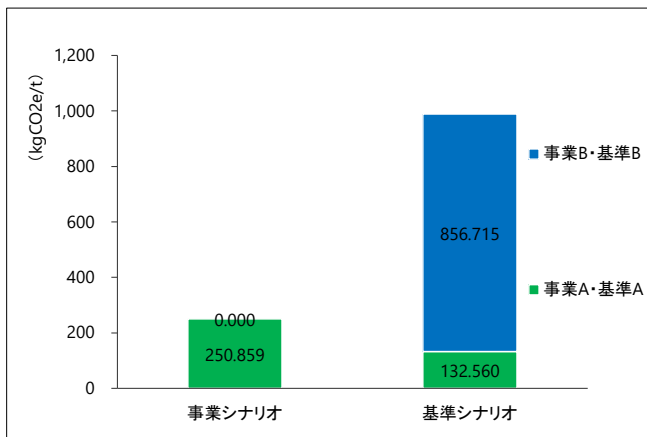
改訂番号 1 入力日 令和8年4月X日

事業名：廃タイルカーベットのマテリアルリサイクル(類型1)

(1) 温室効果ガス排出量の削減効果

① 廃棄物1t当たりの削減量

カテゴリ	項目	排出量 (kgCO2e/t)
事業A	事業シナリオの再資源化プロセス	250.859
事業B	基準シナリオに再資源化や熱回収の工程があり、事業シナリオにはその工程がない場合、その再資源化や熱回収によって得られる製品・サービスの天然資源・プライマリー材由来の製造プロセス	0.000
基準A	基準シナリオの処理プロセス	132.560
基準B	事業シナリオの再資源化と同じ製品・サービスの製造におけるプライマリー材での製造プロセス	856.715
温室効果ガスの排出削減量 (基準A+基準B)-(事業A+事業B)		738.415



(2) 算出結果の詳細

活動量および排出係数については、「3.インベントリデータ一覧」に出典、算出方法を記載すること。

フロー図上のカテゴリとプロセスのNo.を合わせて、記載すること。

① 事業シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業A	1	収集・運搬	a	収集・運搬	75.000	tkm	b	収集・運搬	0.238	kgCO2e/tkm	17.850
	2	選別・破碎・溶融	a	混合(可塑剤)		t	b	混合(可塑剤)		kgCO2eq/t	67.620
	2	選別・破碎・溶融	c	混合(安定剤)		t	d	混合(安定剤)		kgCO2e/t	8.050
	2	選別・破碎・溶融	e	選別・破碎・溶融	370.000	kWh	f	選別・破碎・溶融	0.423	kgCO2e/kWh	156.510
	3	輸送	a	輸送(残渣)	0.760	tkm	b	輸送(残渣)	0.094	kgCO2e/tkm	0.071
	4	埋立	a	埋立	0.020	t	b	埋立	37.900	kgCO2e/t	0.758
合計											250.859

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業B		該当なし									0.000
合計											0.000

② 基準シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準A	1	収集・運搬	a	収集・運搬	75.000	tkm	b	収集・運搬	0.238	kgCO2e/tkm	17.850
	2	破碎等	a	破碎	70.000	kWh	b	破碎等	0.423	kgCO2e/kWh	29.610
	3	埋立	a	埋立	1.000	t	b	埋立	85.100	kgCO2e/t	85.100
合計											132.560

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準B	1	原料採取等	a	ポリ塩化ビニルの原料採取等		t	b	ポリ塩化ビニルの原料採取等		kgCO2e/t	416.150
	2	原料採取等	a	炭酸カルシウムの原料採取等		t	b	炭酸カルシウムの原料採取等		kgCO2e/t	34.905
	3	ペレット化	a	ペレット化(可塑剤投入)		t	b	ペレット化(可塑剤投入)		kgCO2e/t	251.160
	3	ペレット化	c	ペレット化(安定剤投入)		t	d	ペレット化(安定剤投入)		kgCO2e/t	27.600
	3	ペレット化	e	ペレット化	300.000	kWh	f	ペレット化	0.423	kgCO2e/kWh	126.900
合計											856.715

4-2.算出結果\_温室効果ガス排出量の削減効果（負荷回避法の場合）

改訂番号 1

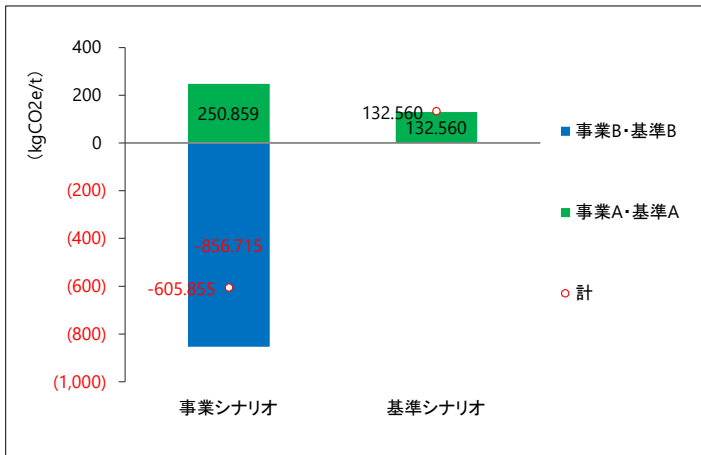
入力日 令和8年4月X日

事業名：廃タイヤカーベットのマテリアルリサイクル(類型1)

(1) 温室効果ガス排出量の削減効果

①廃棄物1t当たりの削減量

カテゴリ	項目	排出量 (kgCO2e/t)
事業A	事業の取組実施による温室効果ガス排出量	250.859
基準B	事業シナリオの再資源化と同じ製品の製造における、プライマリー材製造工程での温室効果ガス排出量(負の排出量として計上)	-856.715
事業シナリオ		-605.855
基準A	廃棄物の適正処理、再資源化又は熱回収の工程での温室効果ガス排出量	132.560
事業B	基準シナリオで再資源化や熱回収が行われていたと設定した場合に、従来の処理が行われなくなってしまうことを補うために必要な工程での温室効果ガス排出量（負の排出量として計上）	0.000
基準シナリオ		132.560
温室効果ガス排出量の削減効果 (基準A+事業B) - (事業A+基準B)		738.415



(2) 算出結果の詳細

活動量および排出係数については、「3.インベントリデータ一覧」に出典、算出方法を記載すること。

フロー図上のカテゴリとプロセスのNo.を合わせて、記載すること。

①事業シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業A	1	収集・運搬	a	収集・運搬	75.000	tkm	b	収集・運搬	0.238	kgCO2e/tkm	17.850
	2	選別・破碎・溶融	a	混合（可塑剤）		t	b	混合（可塑剤）		kgCO2eq/t	67.620
	2	選別・破碎・溶融	c	混合（安定剤）		t	d	混合（安定剤）		kgCO2e/t	8.050
	2	選別・破碎・溶融	e	選別・破碎・溶融	370.000	kWh	f	選別・破碎・溶融	0.423	kgCO2e/kWh	156.510
	3	輸送	a	輸送（残渣）	0.760	tkm	b	輸送（残渣）	0.094	kgCO2e/tkm	0.071
	4	埋立	a	埋立	0.020	t	b	埋立	37.900	kgCO2e/t	0.758
合計											250.859

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準B	1	原料採取等	a	ポリ塩化ビニルの原料採取等		t	b	ポリ塩化ビニルの原料採取等		kgCO2e/t	416.150
	2	原料採取等	a	炭酸カルシウムの原料採取等		t	b	炭酸カルシウムの原料採取等		kgCO2e/t	34.905
	3	ペレット化	a	ペレット化（可塑剤投入）		t	b	ペレット化（可塑剤投入）		kgCO2e/t	251.160
	3	ペレット化	c	ペレット化（安定剤投入）		t	d	ペレット化（安定剤投入）		kgCO2e/t	27.600
	3	ペレット化	e	ペレット化	300.000	kWh	f	ペレット化	0.423	kgCO2e/kWh	126.900
合計											856.715

②基準シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準A	1	収集・運搬	a	収集・運搬	75.000	tkm	b	収集・運搬	0.238	kgCO2e/tkm	17.850
	2	破碎等	a	破碎等	70.000	kWh	b	破碎等	0.423	kgCO2e/kWh	29.610
	3	埋立	a	埋立	1.000	t	b	埋立	85.100	kgCO2e/t	85.100
合計											132.560

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業B		該当なし									0.000
合計											0.000

## 5-1.算出結果\_資源循環の効果 (類型①)

改訂番号

1

入力日

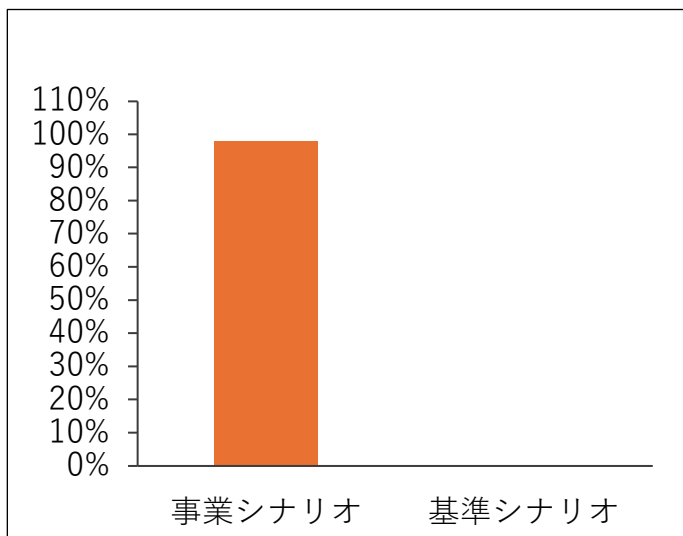
令和8年4月X日

### 事業名：廃タイルカーペットの材料リサイクル(類型1)

#### (1) 資源循環の効果

##### ①廃棄物1t当たりの資源循環の効果

項目	事業シナリオ	基準シナリオ
廃棄物の処理量 (t)	1.000	1.000
再生材供給量 (t)	0.980	0.000
再生材供給量/ 廃棄物の処理量 (%)	98%	0%
資源循環の効果 = 事業シナリオ - 基準シナリオ		98pt



#### (2) 算出結果の詳細

活動量等については、「3.インベントリデータ一覧」に出典、算出方法等を記載すること。

##### ①事業シナリオ

No.	再生材供給量 (t)		
	項目名	数値	単位
1	再生ペレット	0.980	t
	合計	0.980	t

##### ②基準シナリオ

No.	再生材供給量 (t)		
	項目名	数値	単位
	該当なし		t
			t
			t
	合計	0.00	t